

指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち・にしまち児童館・西町学童保育所	所属名	市民生活部 協働コミュニティ課 福祉部 高齢福祉課 子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社こどもの森	指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として国分寺市立地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。 児童館:児童厚生施設として、遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成や親の子育てを支援する。 学童保育所:保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出に関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。 児童館:子どもに対する遊びや文化の提供、子どもの健全育成に係わること。 学童保育所:子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	71,674,523	70,365,063	72,250,105	214,289,691
収入内訳	指定管理料	70,264,859	69,735,666	71,480,000
	利用料金	0	0	0
	その他	1,409,664	629,397	770,105
支出	71,585,567	70,190,628	70,379,162	212,155,357
収支差額	88,956	174,435	1,870,943	2,134,334

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行され、消耗品の在庫管理を含め、適切な対応をしていた。	3	3
業務の 履行 状況 の評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	協定書に基づき業務が実施されていた。引き続き、朝礼の実施をはじめ、コミュニケーションアプリや連絡ノートを活用し、情報共有や円滑な管理・運営に向けた工夫がなされていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	業務仕様書等に定められた開館日数・開館時間が守られていた。	3	3
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	協定書上の必要な職員・支援員等を配置し、日々の運営も基準を満たした職員配置をしていることを確認した。	3	3
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者、放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は施錠できる書棚に保管するなど、適正な管理をしていることを確認し、事務室内は書類が整理整頓されていた。月次報告等での書類の報告や日常業務の報告・相談もなされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	衛生管理に係る計画に基づき、日常業務の中で職員による清掃が行われ、施設が清潔に保たれていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた法定点検や検査等は遅滞なく実施されていた。	3	3

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【西町地域センター】 利用率:40.8%	【西町地域センター】 利用率:42.1%	【西町地域センター】 利用率:47.3%	【西町地域センター】 利用率:43.4%
	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,340人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:2,546人 利用率:40.2%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,219人 (内訳) 個人利用者数:1,579人 団体等利用者数:3,640人 利用率:41.9%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:6,026人 (内訳) 個人利用者数:2,304人 団体等利用者数:3,722人 利用率:45.8%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:5,195人 (内訳) 個人利用者数:1,892人 団体等利用者数:3,303人 利用率:42.6%
	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,130人 【西町学童】 利用率:90.7%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,740人 【西町学童】 利用率:92.0%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:20,837人 【西町学童】 利用率:107.8%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:19,236人 【西町学童】 利用率:96.8%
利用者満 足度(%)	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 97%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 95%
	【にしまち児童館】 98.0% 【西町学童】 91.7%	【にしまち児童館】 91.0% 【西町学童】 92.9%	【にしまち児童館】 99.0% 【西町学童】 89.4%	【にしまち児童館】 96.0% 【西町学童】 91.3%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	アンケートによると、西町ブラザ及び西町学童保育所の全ての施設において概ね9割に届く満足度を得ており、高い水準を維持している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	公共施設予約システム利用者端末での操作が不慣れな利用者に対し、スムーズな手続が行えるよう、積極的に補助を行っていた。また、児童館では要望があった、ベビーマッサージやたき火による料理企画、宿泊企画を実施した。学童では、手作りおやつ月2回の提供と狭隘状況緩和のために学校施設を借用し分散保育、配食サービス利用を実施して好評を得ていた。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員のマナー、言葉づかい、服装等は公共施設であることを十分に認識し、適切であった。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	今年度はクレーム等は発生しておらず、苦情マニュアルは適切に保管しており、事故の連絡マニュアルも事務室内に掲示していた。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報管理に係る計画に基づき、個人情報が記載された書類については、施錠できる書棚に保管するなど、厳格な情報管理がなされていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づき、全ての研修が実施されていた。研修受講後の資料を事務室内で管理し情報共有していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	利用者ごとの特性に応じて筆談対応をするなど、適切に対応していた。また、市が実施した障害児研修や障害児報告会、担当者会議に積極的に参加していた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—	—	—	—
施設の 水の 準性の 特性に 評価した	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町ブラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会会長の交代に係る各利用団体との連絡調整について、充分なサポートを行い、新会長への移行も問題なく完了した。	3	3
	地域との連携(西町ブラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	西町ブラザまつりの開催にあたり、実行委員会と利用者との連携による活動発表やバザーなど様々な企画を実施し、多世代交流が図られた。また、地域町内会の祭りに協力するなど、地域との連携を深めた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性、複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業として、利用者から継続希望のある「落語会」を企画し実施した。	3	3
	自然災害等への対応	4	児童館では、引き続き避難経路のポスターや、避難経路地図が複数掲示され、机上訓練も含め毎月避難訓練を実施した。学童では、計画通り2か月ごとに避難訓練を実施した。消防庁が配信している防災動画で災害に対する知識向上を図った。	4	3
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	落語会に児童も参加したり、例年通りしめ縄づくりを一緒に行うなど複合施設ならではの交流を実施した。学童では、八小の家庭科室を借用した分散保育を継続し、放課後プランとも連携し参加した。西地区まつりなど地域の行事にも積極的に参加した。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童では、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置しており、室内にいられない児童は校庭で散歩するなど、特性に合わせた保育を実施していた。アレルギー児のためのエビベン研修を4月に実施し、手作りおやつも成分表を事前に保護者と確認していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関実提案 する 状況 内容 評価 の 選定時の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>【西町地域センター】 使用承認業務や施設維持管理等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、例年同様公共施設予約システムに対して「利用しにくい」との意見をいただいているが、窓口できめ細かい補助を行うなど利便性の向上に努めていた。自主事業では、昨年度に続き地域センター及び生きがいセンター利用者団体の合同作品展覧会を実施し、利用者の交流機会が提供された。事業計画書及び事業報告書の修正が散見されたので精度を高める様、チェック体制を強化するなど改善を求める。</p> <p>【生きがいセンターにしまち】 市の方針に沿って、迅速かつ丁寧な対応を利用者へ行っており、大きな混乱もなく、運営がなされていた。また、複合館の特色を生かし、多世代交流(敬老)事業として学童保育所の子どもたちのメッセージを生きがいセンター入り口に掲示をしたり、地域生きがい交流事業で制作した作品の展示を地域センターと合同で行い、地域の市民に生きがい交流事業を知っていただく機会を設けた。</p> <p>【にしまち児童館・西町学童保育所】 児童館については、ベビーマッサージやたき火による料理企画、児童館に泊まろう等の様々なイベントを実施するなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、児童館では毎月避難訓練を実施し、自然災害への対応を適切に行っていた。学童保育所については、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行うとともに、手作りおやつを月2回実施するなど丁寧な保育が実施され、保護者の負担軽減のための配食サービスも実施していた。今後も学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>	3	3
		主管課長： 協働コミュニティ課長 氏名： 小坂 彰久 主管課長： 高齢福祉課長 氏名： 荒田 理沙 主管課長： 子ども子育て支援課長 氏名： 山元 めぐみ		

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>【にしまち児童館・西町学童保育所】 子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作や調理のイベントでは感染対策をして開催した。小学生からの要望が多かったコマ大会も実施し、来館につなげた。秋のブラザまつりでは多世代の交流の場として体験コーナーで吹矢や輪投げを体験してもらった。11月にはウエストタウンまつりを開催して多くの利用者の来館があった。西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施、異年齢の交流の場として〇〇タイムの中でJUMP-JAMの遊びを取り入れて様々な体験ができるようにした。又、地域の方に喜んでもらえるようクリスマスには国分寺市イメージキャラクターぶんじほたるホッチに来館してもらい写真撮影会を実施したり、春にはひな飾りと吊るし雛を飾り来館者に喜んでもらい、秋には敬老行事で学童から地域の方々へ手紙を書いてそれを掲示した。</p> <p>【西町地域センター・生きがいセンターにしまち】 利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節が感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の声を聞き、今年度も西町ブラザまつりを開催し多くの方に楽しんでもらい、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携し役員会の開催や利用者協議会の開催の準備を行った。また、作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体及び生きがい交流事業受講生も参加して展示会を企画実施した。</p>	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>西町ブラザまつりを行い、地域の交流を図るとともに、複合施設として多世代交流が図られていた。落語会への児童の参加もそれである。また、児童館、学童保育所においては、子ども同士のトラブルなどについても、丁寧な対応が行われていたことがうかがえる。</p> <p>一方、市へ提出する書類について、期限は守られてはいるものの、内容について不備が多く修正に時間を要するといったことが見受けられた。しんまち児童館のグループと同様、書類の提出について改善を図っていただきたい。</p>	3	3